

ご使用前に

YAMAHA

PORTATONE PS-35

取扱説明書



ごあいさつ

このたびは、ヤマハポータートーンPS-35をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。

ポータートーンは、新しい音楽の楽しみ方を見つける自由な鍵盤楽器。楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の電子技術を駆使して作りあげました。ピアノやストリングの楽器音からシンセサイザー感覚あふれる音まで、ワンタッチで選べる多彩な音色は左右のスピーカーによるステレオ音です。また、指1本でも自動伴奏ができるオートベースコード演奏を華やかにするアルペジオなどコンパクトなボディに楽しさがいっぱい。さらに、メモリー機能を内蔵しています。

本書では、PS-35の魅力を充分ご利用いただけるよう、正しい取扱い方をご説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

目次

	ページ
ご使用前に	1
各部の名称と働き	2
まず1曲弾いてみよう	5
オーケストラ	8
リズム	9
オートベースコード ● シングルフィンガーコード	10
● フィンガードコード/その他のお楽しみ機能	12
コードメモリー	13
楽譜の読み方	14
コード早見表	15
いろいろな曲を弾いてみよう	18
付属端子とオプション	22
このような現象は故障ではありません	24
仕様	26
アフターサービスと保証	27

PS-35取扱説明書 正誤表

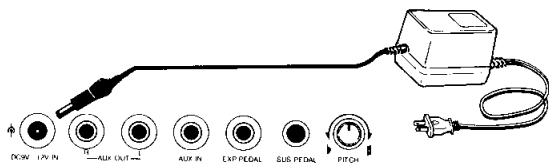
	誤		正
1) P 1 左中程	●電池の入れ方(アルカリ電池)	→	●電池の入れ方
2) P 1 右下	★強い直射日光に長時間さらしたり、また暖房器具のそばに置くことはさけてください。		
	★強い直射日光に長時間さらしたり、また暖房器具のそばに置くことはさけてください。	→	★保管する時は湿気の少ない場所に置いてください。

ご使用前に

電源について

PS-35の電源は、家庭用コンセント、電池、カーバッテリーの3つを使用することができます。

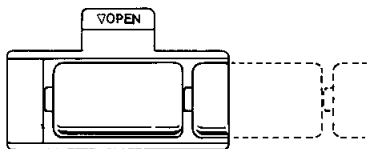
●電源アダプター(PA-4)の接続方法



PS-35の本体背面には、図のような付属端子がついています。電源アダプターのPA-4は、AC 100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧交換器ですから、付属端子の一番左側にある[DC9-12V IN]へ接続して電源を供給してください。

★PA-4以外のアダプターは使用しないで下さい。

●電池の入れ方(アルカリ電池)

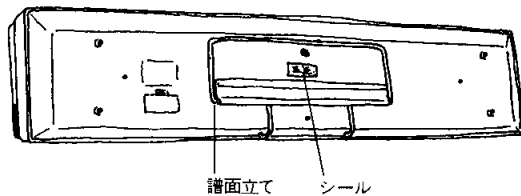


まず、本体裏面にあるケースのふたをとります。単1の乾電池を1列に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようご注意ください。電源スイッチを入れたとき、スイッチの上のパイロットランプが常時点滅していたら、電池がなくなりはじめています。新しい電池を用意してください。

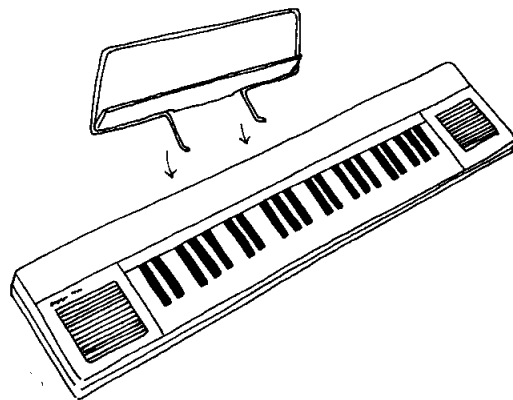
★カーバッテリーを使用するときは、専用のカーアダプター(別売)を付属端子に接続します。(接続方法については22ページをご参照ください。)カーアダプターは12Vマイナスアース車専用ですので、接続する前、車のバッテリーが12Vのものであることを必ず確認してください。

譜面立ての立て方

本体裏面にある譜面立てをはずします。(はずし方は図のシールをご参照ください。)



本体をもどし、楽器の背にある2つの穴に譜面立ての両端を差しこみます。プラスチックのプレートを手前に倒すと完了です。



和文シートについて

PS-35には、本体の各部の名称が和文で書かれたシートがついています。和文の方が便利という方はシートに両面テープが貼付してありますので、本体に貼ってお使いください。

★強い直射日光に長時間さらしたり、また暖房器具のそばに置くことはさけてください。

★強い直射日光に長時間さらしたり、また暖房器具のそばに置くことはさけてください。

各部の名称とはたらき

コードメモリー (13ページ)

プレイバック

コードの再生ボタンです。

レコード

コードの記憶ボタンです。

オフ

コードメモリーのレコードおよびプレイバックを解除します。

総合音量 全体の音量を調節するレバーです。

トランスポージャー

半音ずつ、上下にそれぞれ半オクターブまで、キーを変えることができます。伴奏をするとき、歌う人の声の高さに調節できます。また、音の位置を移動し、やさしいハ長調の弾き方でいろいろな曲が楽しめます。



フィルイン・バー

選んだフィルインのリズムパターンをスタートさせます。

デュエット (12ページ)

オートベースコード使用時のメロディーに、コード音を1音加えた厚みのあるサウンドが得られます。

オートベースコード用音量レバー

自動伴奏の音量を調節するレバーです。

ノーマル

自動伴奏のキャンセルボタンです。

シングルフィンガーコード

指1本の自動伴奏をするボタンです。

メモリー

指を離しても自動伴奏を続けるボタンです。

バリエーション

自動伴奏の音色およびパターンが変化します。

フィンガードコード

和音を押さえて自動伴奏するボタンです。

アルペジオ(自動分散和音)

(12ページ)アルペジオの音量を調節するレバーです。

オートベースコード(自動伴奏装置)

(10-12ページ)

リズム用音量レバー

リズム音の音量を調節するレバーです。

テンポコントロール

リズムのテンポを調節します。

シンクロスタート

オートベースコード用鍵盤を押すと同時にリズムをスタートさせるボタンです。

スタート

ボタンを押すと同時にリズムをスタートさせるボタンです。

リズムセレクター

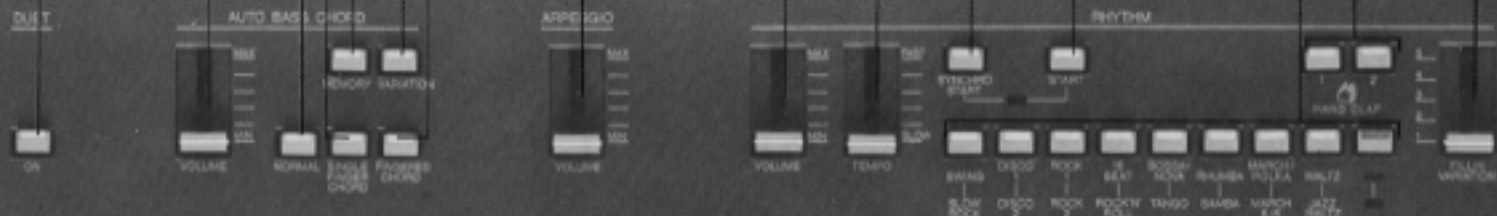
リズムの種類を選ぶボタン。ターで上下いずれかひとつを

手拍子

リズムに合わせて手拍子を入れるボタンです。2拍同時に押すこともできま

フィル

1時的にレバーでフィルイン



オートベースコード用鍵盤部

自動伴奏を使って演奏するとき、伴奏を受け持つ鍵盤です。

リズム (9ページ)

右端の上下セレクトボタンで、リズムを選択します。

リズムを
変換する
ボタンを
押します。

リズム・バリエーション

リズムを変化させる
ボタンです(実際の作動は
レバーを押します。)

オーケストラ音色セレクト

オーケストラ音色を選択ボタンです。右端の上下セレクトボタンで上下いずれかひとつを選択します。

オーケストラトーン (8ページ)

サスティン効果

音色に自然な余韻をつけるレバーです。

ステレオ・シンフォニック (10ページ)

モノラル→ステレオへの切換えボタンで、コーラス・トレモロの効果を加えることができます。

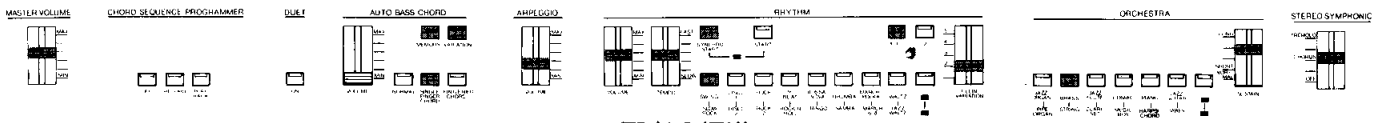


電源スイッチ/パイロットランプ

パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

★ピッチコントロール

本体の背面には、音程を微妙に調整できるピッチコントロールがついています。



聖者の行進

When The Saints Go Marchin' In

アメリカ民謡

C ← 左手はオートベースコードのC(D)を押します。

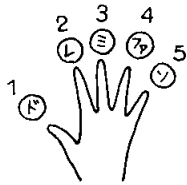
♪ 拍子という意味、つまり1小節内に♪が4個入ります。

ココを押さえてもいいです。

左手はオートベースコードのG(G)を押します。

左手はオートベースコードのF(F)を押します。

●指使い

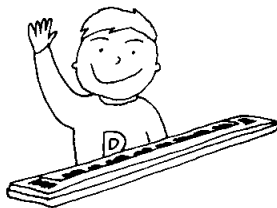


日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号



まず1曲弾いてみよう

とりあえず右手だけで、メロディーを弾いてみよう



まず左手はお休みして、とりあえず右手だけでメロディーを弾いてみよう。ハミングしながら弾くとリズムがとりやすいよ。

- ①電源スイッチをONにします。
- ②総合音量をまんなか位にします。
- ③オーケストラトーンを選択。

(ここではプラス)ボタンの下には2つの音色名が書いてあり、右端の上下セレクターを押すと下の音色になります。(赤いランプで確認)



- ④音量を調節。

適当な大きさに調節しましょう。(楽譜の上の図を参考にしましょう。)

- ⑤弾いてみよう!

プラスの音はいかがですか。

- ⑥ステレオシンフォニックをコーラスにします。

音色がステレオになり、さらにコーラス効果で音に広がりが生まれます。

次に左手でコード伴奏の練習をしてみよう。



次にコード伴奏だけを練習しよう。シングルフィンガーコード(指1本で伴奏する機能)を使えば、はじめての人でもカンタン。

- ①リズムを選択。

ここではスイングを選びます。

- ②リズム用音量を調節。

まんなかよりやや上にセットします。



- ③テンポを調節。

まんなかよりやや下にセットします。



- ④オートベースコード用音量を調節。

- ⑤シングルフィンガーコードのボタンを押します。

指1本で自動伴奏するボタンです。

- ⑥リズムのスタートを押します。

このボタンを押して伴奏を始めると自動的にリズムがスタートします。

- ⑦オートベースコード用鍵盤部のC(D)を押します。

Cのコードのひびきが出てきましたね。同じようにGやFも押してみよう。

- ⑧音量とテンポを調節。

テンポは最初おそめにして練習しよう。

- ⑨弾いてみよう!

コードが変わる時には、必ず一度指を鍵盤から離します。



左手のコード伴奏を記憶させよう。



両手を使うのはまだ、という方。コードメモリーで左手の伴奏を記憶させましょう。

① 記憶ボタンを押します。



② コード演奏を始めてください。

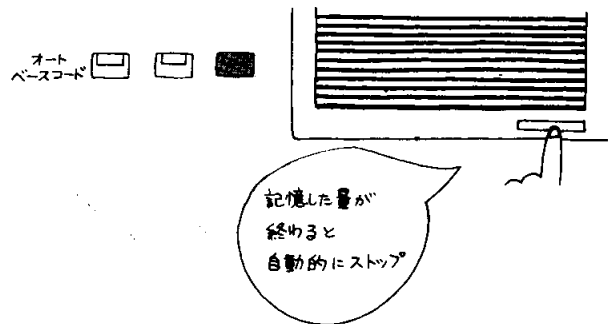
再生のときに調整できるので、テンポはゆっくり弾いてもかまいません。

③ 演奏が終わったらコードの停止ボタンを押します。



④ 再生ボタンを押して、フィルインバーを押すと再生がスタート。

再生に合わせて、何度も練習しよう。



⑤ 再生のときデュエットを加えてみよう。

メロディーにコード音の1音が加わり、音に厚みが生まれます。

⑥ オーケストラにサステインをかけよう。

音に自然な余韻が生まれます。

⑩ メモリーで楽をしよう。

このボタンを押すと、指を離しても自動伴奏が続くのでとても便利。メモリーを押してもう一度弾いてみよう。

⑪ バリエーションで伴奏に変化を。

バリエーションのボタンを押すと自動伴奏の音色およびパターンが変化します。曲のムードが変わりますね。

⑫ アルペジオを加えよう。

アルペジオのボリュームを上げると自動的に分散和音が得られます。

⑬ 手拍子を加えよう。

リズムに合わせて、自動的に手拍子が入ります。手拍子は3種類。ここでは[1]を押そう。

もう一度右手(メロディー)、左手(コード)の練習をしてください。それぞれが最後までうまくできましたか。

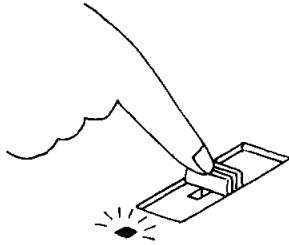
⑭ いよいよ両手のプレイにチャレンジ!

最初は弾きやすいテンポで、次第にテンポを上げてみよう。どうしても弾けない人もあきらめるのはまだ早い。コードメモリーが左手の伴奏を覚えてくれます。

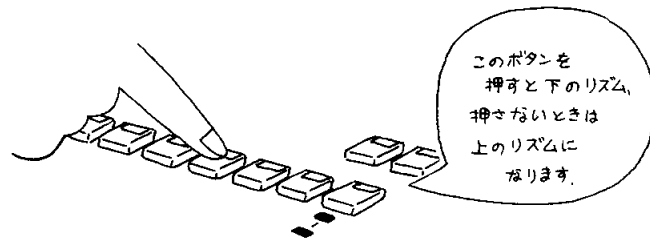
オーケストラ

ポータートのオーケストラ音色は、ボタンをひとつ押すだけで12の楽器音が自由に選べます。また、同時に9音まで(オートベースコードを使っていないとき)の和音演奏もできます。

①電源スイッチをONにします。



②オーケストラの音色セレクターから、好きな音色を選びます。

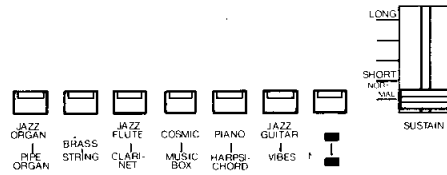


それぞれのボタンの下には2つの楽器名が書かれています。右端の上下セレクターで上下いずれかをお選びください。

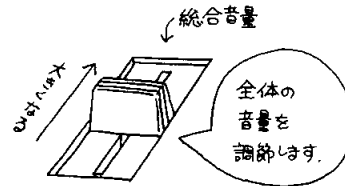
★同時に2つ以上の音色を押すと、右側の音色が優先します。また、いずれかの音色セレクターを押すと、前に選んだ音色は自動的にキャンセルされます。

★音色セレクターがすべてOFFの場合、ジャズオルガンの音になります。

ORCHESTRA



③マスターボリュームで音量を調節します。

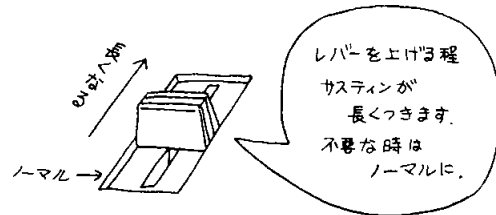


④鍵盤を押さえます。

選んだ音色が出てきたことと思います。ほかの音色に変えて、いろいろなメロディーを弾いてみましょう。

サスティンで音に余韻を

サスティンは、音に自然な余韻をつける効果です。レバーで余韻の長さを調節しましょう。



★オーケストラ音色には大きく分けて2種類あります。

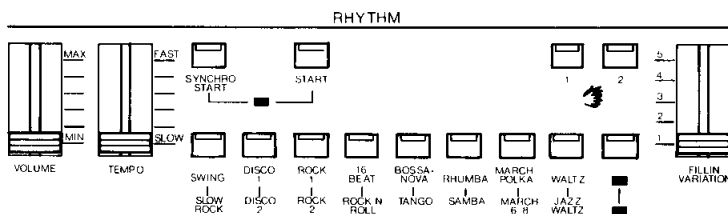
持続音：鍵盤を押している間、音が続くもの。

減ずい音：鍵盤を押していても段々音が消えていくもの。

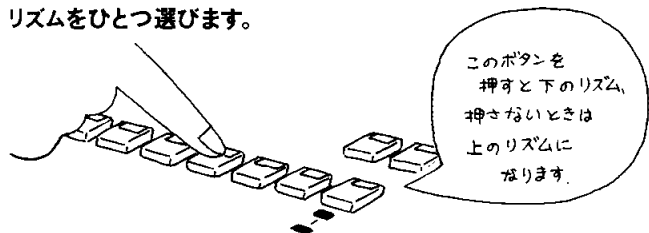
持続音	ジャズオルガン	パイプオルガン
	プラス	ストリング
	ジャズフルート	クラリネット
	コズミック	
減ずい音	ピアノ	ミュージックボックス
	ハーブシコード	
	ジャズギター	
	ビブラホン	

リズム

ポータートのリズム音色は、PCM音源使用によるライブ感覚あふれるリアルな音質で、シンバル、ドラムなどの歯切れのよい打楽器音を自動的にきざみます。

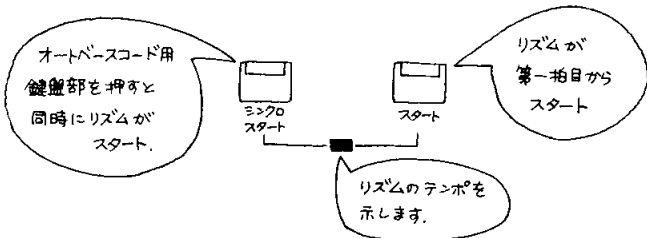


①リズムセクターから、リズムをひとつ選びます。



- ★同時に2つ以上のリズムを押すと、右側のリズムが優先します。また、いずれかのリズムセクターを押すと、前に選んだリズムは自動的にキャンセルされます。
- ★リズムセクターがすべてOFFの場合、スイングの音になります。

②スタート・シンクロスタート、どちらかのボタンを押します。



<スタート>

ボタンを押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。

<シンクロスタート>

オートベースコード用鍵盤部を押すと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。点滅するランプでテンポを確認して、メロディーとリズムを同時にスタートさせることができます。

- ★リズムをとめるときには、もう一度スタートまたはシンクロスタートを押します。
- ★スタートとシンクロスタートを両方とも押した場合、スタートが優先します。

③リズム用音量レバーで、音の大きさを調節。

- ★総合音量の調節も忘れずに。

④テンポレバーで、リズムの速さを調節。

- ★リズムの速さはテンポランプを見れば、目で確認できます。

ハンドクラップ(手拍子)を加えてみましょう。



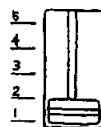
ハンドクラップに合わせて手をとたたき、リズム感がつきます!

リズムを選んだ後にハンドクラップのボタンを押すと、自動的に手拍子が加わります。1と2の2種類の手拍子がありますが、同時に両方を押すこともできます。

フィルインで、リズムに変化を。

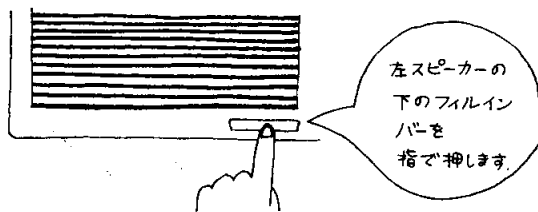
リズムを出しているとき、メロディーの切れ目など必要ときに、リズムに変化をつけることができます。

①フィルインバリエーションからひとつ選びます。



リズムに合わせて5パターンのフィルインが選べます。

②リズムをスタートさせておき必要ときにフィルイン・バーをチョンと押してください。



その小節の終わりまで変則的なリズムに変わり、次の小節は元のリズムにもどります。

- ★フィルインを押し続けると変則的なリズムが長く続きます。
- ★フィルインのパターンが出ているときには、オートベースコード・アルペジオの音は出ません。

オートベースコード(自動伴奏装置)

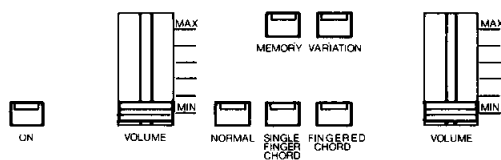
シングルフィンガーコード

シングルフィンガーコードは鍵盤をひとつ押さえるだけで、和音とベース音による自動伴奏ができます。鍵盤経験のない方や、コード伴奏に慣れていない方も、指1本で伴奏が楽しめます。

DUET

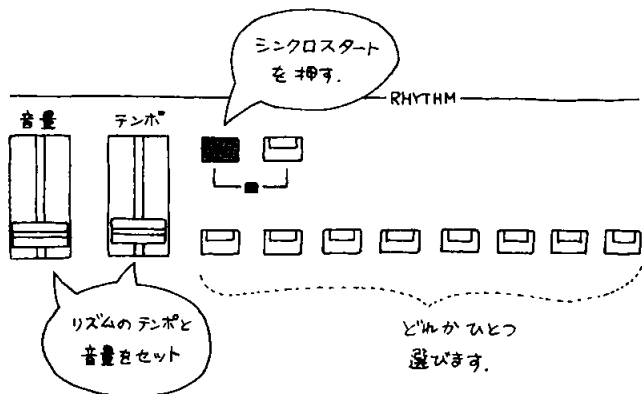
AUTO BASS CHORD

ARPEGGIO



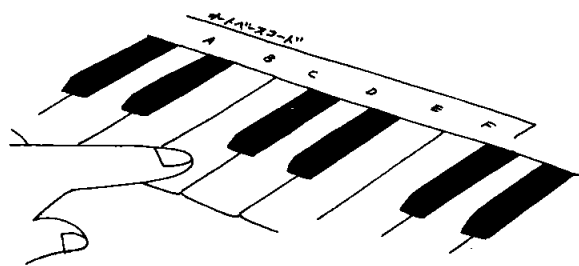
①リズムをセットします。

(9ページ参照)



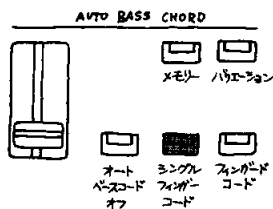
④オートベースコード用鍵盤を

どれかひとつ押さえます。



オートベースコード用鍵盤(左はじの19鍵)を押すとリズムがスタート。和音とベース音がリズムによって出てきます。好みの音量に調節しましょう。

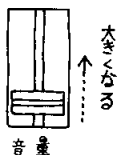
②シングルフィンガーコードのボタンを押します。



指一本で
和音とベース音による
自動伴奏をします

③オートベースコード用レバーを

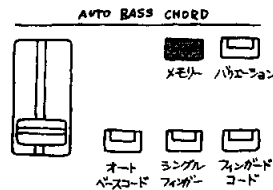
まんなか位にセットします。



★総合音量のボリュームが最小の状態では、ごく小さな音しかできません。

メモリーで楽をしよう。

メモリーのボタンを押すと、鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ、鍵盤を押してください。



★シングルフィンガーコード、フィンガードコードの両方に使えます。

★コードを変えるときは、指を一度鍵盤から離してください。

★リズムをセットしない場合、持続音が鳴り続けます。メモリーを解除すれば鳴りやみます。

バリエーションで、ベース音に変化を。

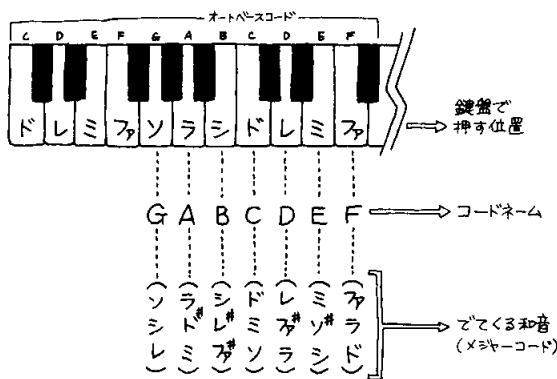
バリエーションは、自動伴奏のコードの音色およびパターンと、ベース音を変化させるボタンです。曲の雰囲気に合わせて使ってください。

★リズムをセットせずにオートベースコードを使うと、和音とベース音の伴奏はリズムにのらない持続音になります。曲によっては、この伴奏の方が効果的な場合があります。また、リズムに合わせづらいつきも、持続音の伴奏で練習するとやさしくできます。自動伴奏の音色は、音色セレクターで選んだ音色に関係ありません。

⑤ シングルフィンガーコードを使って曲を弾いてみよう。

次の図は、オートベースコード用鍵盤を押す位置と、出てくる和音の関係を示したものです。

5ページの楽譜を見ながら、オートベースコードの練習をしましょう。



♯、♭のついているコードの出し方。

メジャーコード(例えば[C][F]など)の中には、[F♯]や[B♭]のように♯(シャープ)や♭(フラット)のついているものがあります。この♯、♭は、音符についている場合と同じように、半音上げる(♯)、半音下げる(♭)ように指示する記号です。

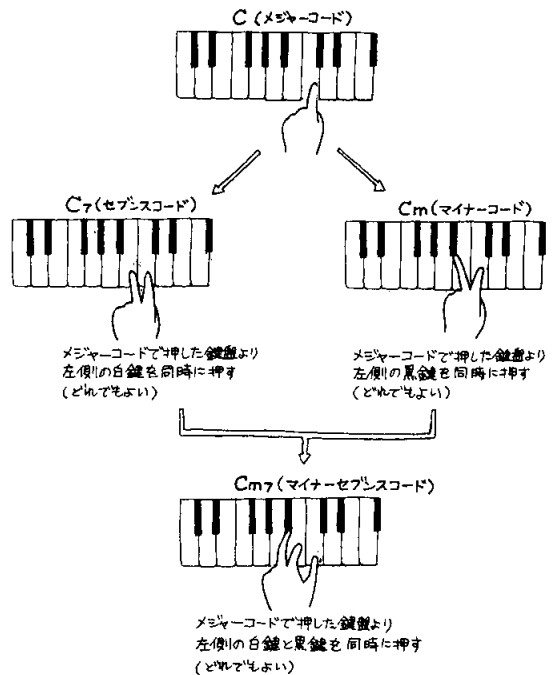


(コードネーム)

♯がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、♭がついていたら左上の黒鍵を押せば、♯♭のついたコードが出せます。

[m]、[7]のついているコードの出し方。

伴奏はメジャーコードだけとは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時に押すことで出すことができます。



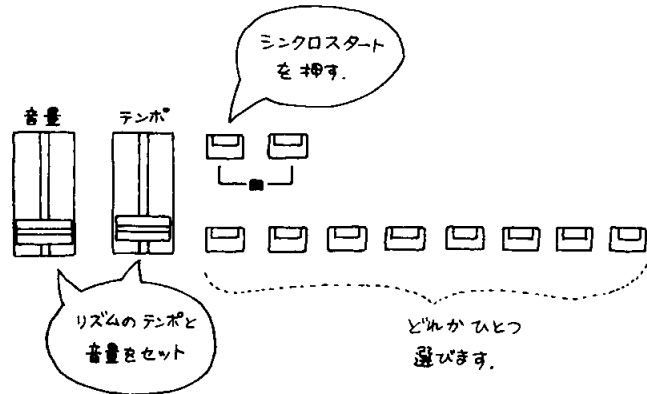
オートベースコード^①(自動伴奏装置)

フィンガードコード

フィンガードコードは和音を押さえることで、和音とベース音の自動伴奏ができます。コードの伴奏づけに慣れている方には、シングルフィンガーコードよりも使いやすい自動伴奏です。

①リズムをセットします。

(9ページ参照)

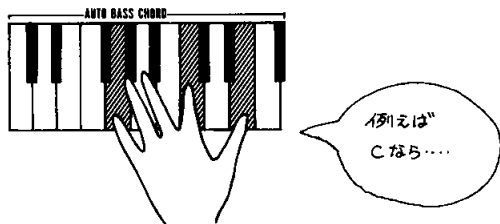


②フィンガードコードのボタンを押します。

③オートベースコード用レバーを まんなか位にセットします。

★総合音量のボリュームが最小の状態では、ごく小さな音しかできません。

④オートベースコード用鍵盤で和音を押さえます。



⑤フィンガードコードを使って曲を弾いてみよう。

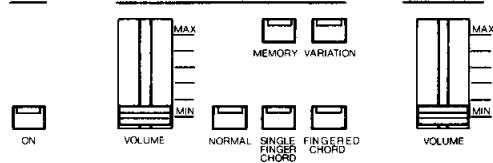
15～17ページのコード早見表(フィンガードコード)を参考にして、5ページの楽譜を弾いてみましょう。

★シングルフィンガーコードと同じようにメモリー・バリエーションも使えます。(10ページ参照)

DUET

AUTO BASS CHORD

ARPEGGIO



その他のお楽しみ機能

アルペジオ

アルペジオは、ハープやギターなどのように、音を連続して奏でる分散和音的な奏法のこと。ポータートーンでは、自動伴奏使用時にボリュームを上げるだけでアルペジオが得られます。

①リズムとオートベースコードにより 自動伴奏をスタートさせます。

(10～12ページ参照)

★アルペジオは、リズムとオートベースコードのシングルフィンガーコードまたはフィンガードコードを必ずセットしてください。

②アルペジオの音量レバーを上げます。

★アルペジオが不要な場合にはボリュームを最小にしておきます。

デュエット

オートベースコードと連動してメロディー演奏をするとき、自動的にコード音の中の1音がメロディーに加わり、厚みのある重音演奏をすることができます。

①オートベースコードにより自動伴奏を スタートさせます。

(10～12ページ参照)

②デュエットのボタンを押して、 メロディー演奏をはじめてください。

自動的にデュエット音がつきます。

コードメモリー

ポータートのコードメモリーは、左手のコード伴奏をあらかじめ楽器に記憶させることができます。両手の演奏に慣れていない方から、高度な演奏をめざす方まで、使い方はさまざまです。

レコード(記憶)

① 曲に合ったリズムを選びます。

★テンポは再生の時に調節できるので、ゆっくり弾いてもかまいません。

② コードの記憶ボタンを押します。



★コードメモリーの時にはシングルフィンガーコード・メモリー・シンクロスタートが自動的に作動します。

★フィンガードコードで記憶させるときには、フィンガードコードのボタンを押します。

③ コードを記憶させます。

楽譜をよく見ながら、ゆっくりとプログラムしましょう。間違えたときには、もう一度最初からやり直します。

メロディーを口ずさみながら記憶させましょう。

★コードがない(リズムだけの)小節を作るには、必要な長さだけフィルイン・バーを押します。

④ 記憶が終わったら、停止のボタンを押します。

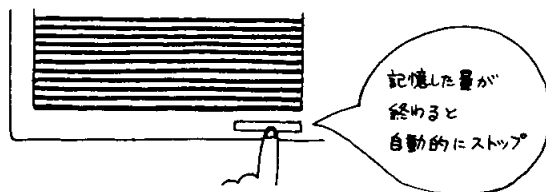
★シンクロスタート、シングルフィンガーコードを押しても停止しません。

プレイバック(再生)

① 再生ボタンを押します。



② フィルイン・バーを押します。



再生がスタートします。

★オートベースコード用鍵盤を押しても再生がスタートします。

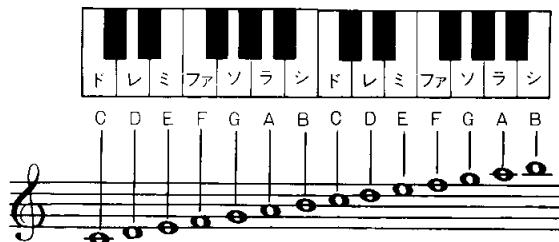
★新しいコードを記憶させない限り電源を切っても記憶されたコードは約10日間有効です。

③ 再生の途中でストップしたい場合には停止ボタンを押します。

楽譜の読み方

■五線譜の読み方は

はじめに、鍵盤と五線譜
の関係を示してみると…



■音符と休符の長さは

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
全音符	↑ ↑ ↑ ↑ 4つ分のばす
付点2分音符	↑ ↑ ↑ 3つ分のばす
2分音符	↑ ↑ 2つ分のばす
4分音符	
8分音符	♩ (♩ ♩ = ↑) 半分にする
3連音符	♪ 3等分する

休符の種類と名称	4分休符と比較した長さ
全休符	よよよよ 4つ分休む
付点2分休符	よよよ 3つ分休む
2分休符	よよ 2つ分休む
4分休符	
8分休符	よ (よよ = ♩) 半分休む

(♩) は ♩ を3等分)

■記号を覚えよう

記号とよみ方	意味
# シャープ	半音あげる
b フラット	半音さげる
♮ ナチュラル	もとの音にもどす
 タイ	音を続ける
 スラー	なめらかに
◡ フェルマータ	その音をのばす
Tacet タセット	伴奏を休む
Fine フィーネ	おわり



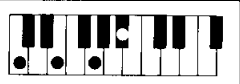



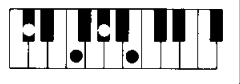





























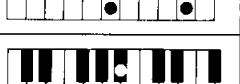

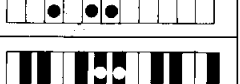
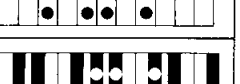




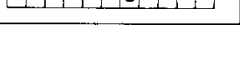
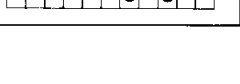
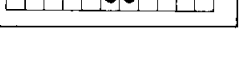
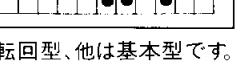
記号とよみ方	意味
 リピート	くりかえし
 1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと「2」へ。
D.C. ダカーポ	最初から。 Fine D.C.
D.S. ダルセーニョ	記号※から Fine D.S.
♯ Coda コーダ	くりかえしのあと♯ Codaへ。

コード早見表

シングルフィンガーコード

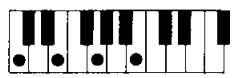
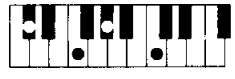





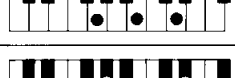



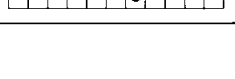
メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
C [♯] (D [♯])		C [♯] m (D [♯] m)		C [♯] 7 (D [♯] 7)		C [♯] m7 (D [♯] m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E [♯] (D [♯])		E [♯] m (D [♯] m)		E [♯] 7 (D [♯] 7)		E [♯] m7 (D [♯] m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F [♯] (G [♯])		F [♯] m (G [♯] m)		F [♯] 7 (G [♯] 7)		F [♯] m7 (G [♯] m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A [♯] (G [♯])		A [♯] m (G [♯] m)		A [♯] 7 (G [♯] 7)		A [♯] m7 (G [♯] m7)	
A		Am		A7		Am7	
B [♯] (A [♯])		B [♯] m (A [♯] m)		B [♯] 7 (A [♯] 7)		B [♯] m7 (A [♯] m7)	
B		Bm		B7		Bm7	

フィンガードコード

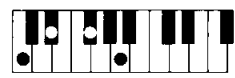

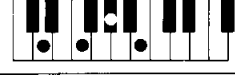


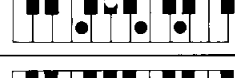





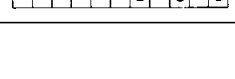
メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
C ^b (D ^b)		C ^b m (D ^b m)		C ^b 7 (D ^b 7)		C ^b m7 (D ^b m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E ^b (D ^b)		E ^b m (D ^b m)		E ^b 7 (D ^b 7)		E ^b m7 (D ^b m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F ^b (G ^b)		F ^b m (G ^b m)		F ^b 7 (G ^b 7)		F ^b m7 (G ^b m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A ^b (G ^b)		A ^b m (G ^b m)		A ^b 7 (G ^b 7)		A ^b m7 (G ^b m7)	
A		Am		* A7		* Am7	
B ^b (A ^b)		B ^b m (A ^b m)		* B ^b 7 (A ^b 7)		* B ^b m7 (A ^b m7)	
B		Bm		* B7		* Bm7	

※は転回型、他は基本型です。

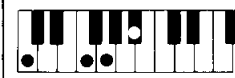
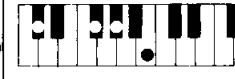

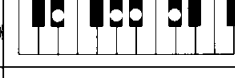




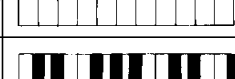
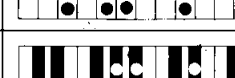

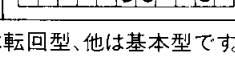
メジャーセブンスコード

Cmaj7	
C [♯] maj7 (D [♯] maj7)	
Dmaj7	
E [♭] maj7 [*] (D [♯] maj7)	
E [♯] maj7	
Fmaj7	
F [♯] maj7 (G [♯] maj7)	
Gmaj7	
* A [♭] maj7 (G [♯] maj7)	
* A [♯] maj7	
* B [♯] maj7 (A [♯] maj7)	
* B [♭] maj7	

ディミニッシュコード

Cdim	
C [♯] dim (D [♯] dim)	
Ddim	
E [♭] dim (D [♯] dim)	
E [♯] dim	
Fdim	
F [♯] dim (G [♯] dim)	
Gdim	
A [♭] dim (G [♯] dim)	
A [♯] dim	
* B [♯] dim (A [♯] dim)	
* Bdim	

セブンスサンペンデッド
フォースコード

C7sus4	
C [♯] 7sus4 (D [♯] 7sus4)	
D7sus4	
E [♭] 7sus4 (D [♯] 7sus4)	
E [♯] 7sus4	
F7sus4	
F [♯] 7sus4 (G [♯] 7sus4)	
Gsus4	
A [♭] 7sus4 (G [♯] 7sus4)	
* A7sus4	
* B [♯] 7sus4 (A [♯] 7sus4)	
* B7sus4	

*は転回型、他は基本型です。

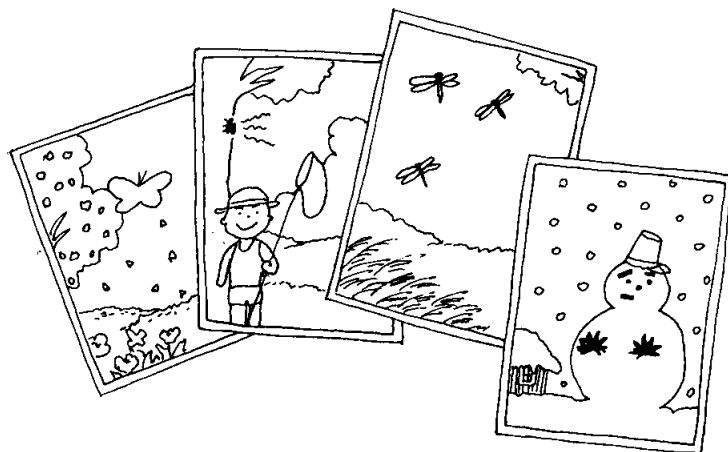
MASTER VOLUME CHORD SEQUENCE PROGRAMMER QUIET AUTO BASS CHORD ARPEGGIO RHYTHM ORCHESTRA STEREO SYMPHONIC

四季のうた

作曲 荒木とよひさ

Chords: Dm, Am, E7, Am, Am, Dm, Am, Dm, Am, B7, E7, Am, Dm, Am, Dm, Am, E7, Am, Dm, E7, Am.

© 1972 & 1976 by Pacific Music Publishing Co., Ltd. 日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号



MASTER VOLUME CHORUS SEQUENCE PROGRAMMER DUAL AUTO BASS CHORUS AIR BRIDGE RHYTHM ORCHESTRA STEREO SYMPHONIC

喜びの歌
from Choral Symphony

作曲 L. Van Beethoven

C G7 C G7

ステレオシンフォニックをコーラスに

C G7 C G7 C

コスミック
2回目 は ハープ・レコード

G7 C G7 C G7 E7 Am D G7 C

パイプオルガン
2回目 は ストリング

C7 F C 1. G7 C

2. G7 C F C

2回目 は パイプオルガン

日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号



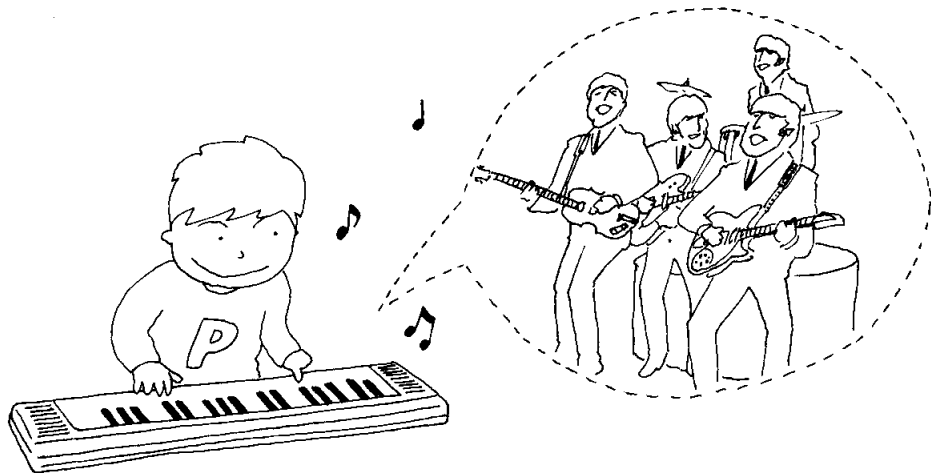
MASTER VOLUME CHORD SEQUENCE PROGRAMMER DUAL AUTO BASS LEAD/DRUM AIR/ORGAN RHYTHM ORCHESTRA STEREO SYMPHONIC

抱きしめたい
I Want To Hold Your Hand

作曲 J. Lennon & P. McCartney

The musical score is written in 4/4 time and consists of several staves. The first staff is a bass line starting with a G chord. The second staff is a treble line with a G7 chord and a 'ストリング' (strings) annotation. The third staff continues the treble line with chords G7, Am, Em, F, G7, C, Am, to F, and G7. The fourth staff has two first endings: the first ending is marked '1. C' and the second '2. C', with a note 'フルートまたはフレンチアコーディオン' (flute or french accordion). The fifth staff continues with chords Gm7, C7, F, G7, F, G7, F, and a 'ストリング' (strings) annotation. The sixth staff has chords G7, F, G7, E7, F, G7, F, and C, with a note 'シブズフルート' (shibuz flute). The seventh staff has chords F, C, F, C, F, C, and F, with annotations 'コスミック' (cosmic), 'ストリング' (strings), and 'パイプオルガンまたはコスミック' (pipe organ or cosmic). The score ends with an F.O. (Final Organ) marking.

© Copyright 1963 for the World by NORTHERN SONGS LTD. 日本音楽著作権協会(出)許諾第8211278号
Rights for Japan Controlled by SHINKO Music Publishing Co., LTD.



付属端子とオプション

PS-35の本体右上には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、PS-35の楽しさはいっそう拡がります。(ヘッドホンは左前にあります。)



① HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



オプション(別売)

● ライトウエイトヘッドホン(YH-51)(YH-35)



② AUX OUT端子

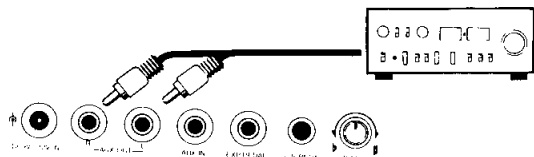
A. より豊かな音量で。

PS-35は、内蔵のスピーカーでも十分な音量でお楽しみいただけますが、パーティーや戸外での演奏など、より大きな音量が必要なときには、このAUX OUT端子を使って、トーンキャビネットやアンプなどに接続してください。迫力あるサウンドが楽しめます。

また、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときにも、この端子を使います。ステレオなどのLINE INジャックに接続してください。

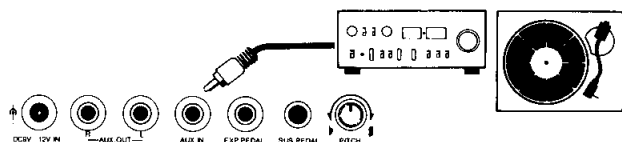
B. 演奏を録音

PS-35の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープレッキのLINE INジャックに接続してください。録音レベルは、テープレッキで調整できます。



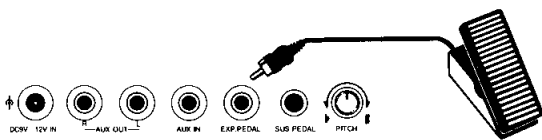
③AUX IN端子

レコードやテープの音をPS-35本体のスピーカーから出したいときに使う端子です。レコードやテープの音量は、PS-35のマスターボリュームでは調節できませんから、ステレオやテープデッキの音量コントローラーをお使いください。



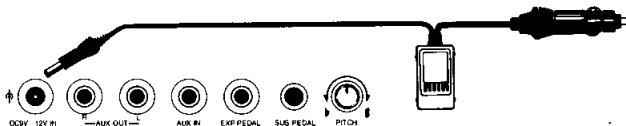
④EXP.PEDAL端子

エクスプレッションペダルは、演奏中、足で自由に音量を調節することができるペダルです。このEXP PEDAL端子に接続してお使いください。



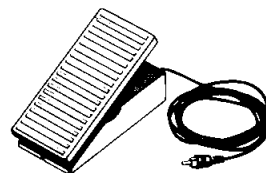
⑤DC 9V-12V IN端子

カーバッテリー（シガーライターソケット）から電源をとるときには、この端子を使います。専用のカーアダプターを接続してください。



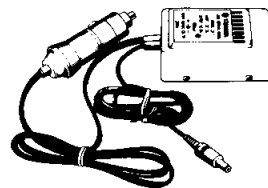
オプション(別売)

●エクスプレッションペダル(EP-1)



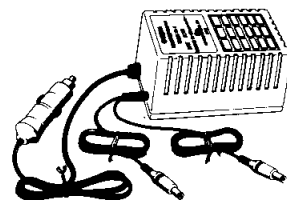
〔CA-1〕

車のシガーライターソケットから本体へ電源を供給します。このアダプターは、異常電圧から本体を保護するための回路を内蔵しています。



●カーアダプター〔CA-2〕オプション(別売)

接続コードが2つに分かれているタイプで、本体と同時にトーンボックスなどへの電源が取りだせます。

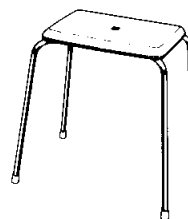


★PS-35には〔CA-1〕または〔CA-2〕をご使用ください。他のアダプターをご使用にならないようにお願いします。

●スタンド(L-2)



●イス(BC-2)



このような現象は故障ではありません

現象	原因	解決法
オーケストラ音色で選んだ音色とは別の音色が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ① 上下セレクターを操作していない。 ② オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①② 8ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。 ③ オートベースコードを使っている場合、オートベースコード用鍵盤部の音色は、選んだ音色と関係ありません。
オーケストラ音色は、鍵盤を同時に10音おさえても9音しか出ない。また、ソロ音色は、2音おさえても1音しか出ない。	オーケストラ音色は最高9音まで、ソロ音色は1音しか出ないようになっています。(オートベースコードを使用していないとき)	オーケストラ音色は先におさえた鍵盤の音を、優先します。
リズムの音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ① スタートボタンがどちらも押されていない。 ② シンクロスタートボタンを押して、オートベースコード用鍵盤部を押していない。 ③ リズムボリュームが最小になっている。 	9ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセレクターで選んだリズムとは別のリズムが出る。	<ul style="list-style-type: none"> ① 上下セレクターを操作していない。 ② フィルイン・バーのスイッチが押されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 9ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。 ② フィルインバリエーションを使うと、リズムは変化パターンに切りかわります。
音色セレクター、またはリズムセレクターを2つ入れても、1種類しか出ない。	オーケストラ音色、およびリズムは、それぞれ一度にひとつしか選べません。	同時に2つ以上入れた場合は右側が優先します。
オートベースコードの音が出ない。または、リズムにのらない。	<ul style="list-style-type: none"> ① シングルフィンガーコード、フィンガードコードのボタンがどちらも押されていない。 ② オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③ オートベースコードボリュームが最小になっている。 ④ リズムがセットされていない。 	10～12ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
メモリーを使って、オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤を指を離さずに弾いているため。	メモリーを使ったオートベースコード伴奏では、コードチェンジをするとき、一度指を離すようにしてください。

現 象	原 因	解 決 法
オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、鍵盤を同時に5音おさえても4音しか出ない。	オートベースコードを使っているとき、オーケストラ音色は、同時に4音までしか出ないようになっています。	先におさえた4音が優先します。
アルペジオの音が出ない。	①リズムまたはオートベースコードのシングルフィンガーコード、フィンガードコードのどちらかがセットされていない。 ②アルペジオボリュームが最小になっている。	12ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが点滅する。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①新しい電池をご用意ください。 ②ご心配いりません。
電池の寿命が短い。	通常の単1型電池の寿命は、1～2時間程度です。	①アルカリ電池を使用すれば5～6時間も持ちます。 ②ご家庭では電源アダプターをご使用ください。
デュエットの音が出ない。	①オートベースコードを使用していない。 ②オーケストラのボリュームが上がっていない。	12ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
コードメモリーが停止しない。	コードメモリーはシンクロススタートまたはシングルフィンガーコードを押しても止まりません。	コードメモリーの停止ボタンを押してください。
コードを記憶しない。	記憶の途中でフィルインバーにふれたため。	フィルインバーが押されるとリズムのみの小節となります。

仕様

■鍵盤

一段鍵盤 49鍵 C1~C5

■音色スイッチ

オーケストラ

音色L1/L2切換え

ジャズオルガン/パイプオルガン

ブラス/ストリング

ジャズフルート/クラリネット

コズミック/ミュージックボックス

ピアノ/ハーブシコード

ジャズギター/ビブラホン

■音色コントロール

オーケストラ

サステインボリューム

ステレオシンフォニック

■リズムスイッチ

パターン1/2切換え

スイング/スローロック

ディスク1/ディスク2

ロック1/ロック2

16ビート/ロックンロール

ボサノバ/タンゴ

ルンバ/サンバ

マーチ/ポルカ/マーチ6/8

ワルツ/ジャズワルツ

ハンドクラップ1/

ハンドクラップ2/ } (ハンドクラップ3
(ハンドクラップ1、2共オン)

■リズムコントロール

シンクロススタートスイッチ

スタートスイッチ

テンポボリューム

リズムボリューム

テンポランプ

フィルインバリエーションスイッチ

フィルインスイッチ

■オートベースコード

ノーマルスイッチ

シングルフィンガーコードスイッチ

フィンガードコードスイッチ

メモリースイッチ

バリエーションスイッチ

オートベースコードボリューム

■アルペジオ

アルペジオボリューム

■デュエット

オン/オフスイッチ

■コードメモリー

オフスイッチ

レコードスイッチ

プレイバックスイッチ

■メモリー容量

コード 100ステップ(100小節又は100コード
のいずれかを満たすまで)

■その他コントロール

パワースイッチ

パイロットランプ

マスターボリューム

トランスポージャー

ピッチ

■付属端子

HEADPHONES JACK

DC9V-12V IN "

AUX OUT L "

AUX OUT R "

AUX IN "

EXP. PEDAL "

SUSTAIN "

■メインアンプ

5W×2(4Ω負荷)

■スピーカー

12cm×2

■定格電源

DC9V: SUM-1×6

電源アダプター

カーバッテリー、アダプター

■消費電力

電源アダプター使用時 20.0W(最大音量時)

電池使用時 10.0W(最大音量時)

■外装

本体材質 スチロール樹脂

仕上げ アクリルラッカー塗装

間口 980mm

奥行 236mm

高さ 85mm(譜面立てを含まず)

重量 5.6kg

※重量は乾電池重量を含まず。

■付属品

譜面立て

和文表示シート

トップカバー

電源アダプター(PA-4)

単1乾電池6個

アフターサービスと保証

●サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1か年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。

■保証期間の1か年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“このような現象は故障ではありません”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて仕間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

〈お客様相談窓口〉

東京電音サービスセンター

☎(03)255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●東京ステレオサービスステーション

☎(03)255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●東京電音サービスステーション

☎(03)255-2241 〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F)

●横浜電音サービスステーション

☎(045)212-2223 〒231 横浜市中区本町6-61-1

●新潟電音サービスステーション

☎(0252)43-4321 〒950 新潟市万代1-4-8
(シルバーボールビル ヤマハ新潟センター内)

大阪電音サービスセンター

☎(06)877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●大阪ステレオサービスステーション

☎(06)877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●大阪電音サービスステーション

☎(06)877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●四国電音サービスステーション

☎(0878)33-2233 〒760 高松市南新町6-1(岡田ビル2F)

名古屋電音サービスセンター

☎(052)231-2432 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●名古屋電音サービスステーション

☎(052)231-2432 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●北陸電音サービスステーション

☎(0762)43-5341 〒921 金沢市泉本町7-7

●浜松電音サービスステーション

☎(0534)56-9211 〒432 浜松市東伊場2-14-1

九州電音サービスセンター

☎(092)472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●九州電音サービスステーション

☎(092)472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●広島電音サービスステーション

☎(082)874-3787 〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3

北海道電音サービスセンター

☎(011)781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

●北海道電音サービスステーション

☎(011)781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

仙台電音サービスセンター

☎(0222)22-6144 〒980 仙台市大町2-2-10(住友生命仙台青葉通りビル)

●仙台電音サービスステーション

☎(0222)96-0249 〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター内)

〈お預り品修理拠点〉

●東京電音サービスデポ

☎(03)904-4901 〒171 東京都練馬区高野台2-3-10

●大阪電音サービスデポ

☎(06)877-5262 〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内)

●名古屋電音サービスデポ

☎(052)231-7896 〒460 名古屋市中区栄1-8-7

●九州電音サービスデポ

☎(092)472-2134 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

●北海道電音サービスデポ

☎(011)781-3621 〒065 札幌市東区本町1条9-3

●仙台電音サービスデポ

☎(0222)96-0249 〒983 仙台市卸町5-7(仙台卸商共同配送センター内)

〈本社〉

営業技術部 電音サービス課

☎(0534)65-1111 〒430 浜松市中沢町10-1

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL 0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル
TEL 03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋ビル東館
TEL 06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL 052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL 092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL 011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10
TEL 0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区基町13-13/平和生命広島ビル8F
TEL 082(221)4122

浜松支店 / 〒430 浜松市田町32/東京海上ビル
TEL 0534(54)4116

